指　導　計　画

令和６年度

豊平区保育・子育て支援センター

1　センターの状況

（1）地域の状況

・国道 36 号線や地下鉄駅にほど近く立地し、比較的利便性がよい。
・近隣には月寒公園や小公園が多数あり、自然環境には比較的恵まれている。
・南税務署や月寒高校、かっこう幼稚園などと地域の情報を共有しており、連携を図れる体制が整っている。

（2）子どもの状況

・兄弟関係が多く入所している。
・保育年数の長い子が多く、年度途中の入退園は少ない。
・常設子育てサロンや一時預かり利用から入所に至る子がいる。

（3）保護者の状況

・両親共にフルタイムで就労している家庭が多く、長時間保育の利用が多い。
・行事（運動会・生活発表会・保育参加など）に参加する保護者が多い。
・父母会があり、園の保育に協力的であり、理解している家庭が多い。

2　センター目標

「子どもを豊かな心に育てる」

・四季の変化を感じながら生活を楽しみ、豊かな感性を養っていく。
・友達や職員、ボランティア、地域の人々、中高生など様々な立場や年代の人と関わり、ともに感じたり伝え合ったりする中で、思いやりの心や慈しみの心を育てていく。

「子どもが自ら考え、行動する力を育てる」

・日々の生活や遊びを通して様々な経験をする中で、自ら伸びていこうとする気持ちや心身ともにたくましく生きる力を育てていく。

3　年間指導計画について

子どもの育ちを考慮して４期に分類し、子どもの姿を捉えることとした。
分類の期間は下記のとおりである。

Ⅰ期・・・４月～５月
Ⅱ期・・・６月～９月
Ⅲ期・・・10 月～12 月
Ⅳ期・・・1 月～３月

4　障がい児保育について

個別に支援が必要な子どもとその保護者に、保育の中で十分な配慮と支援を行っていくよう、年間の発達に見通しをもって個別の支援計画を作成する。また、個に応じた関わりに配慮しながらも、集団の中の一員としての関わりも大切にして保育を行う。

保育所と家庭との連携が大切であり、保育園と家庭での状況を伝え合い、子どもの発達上の課題について適切な環境の整備や専門的知識が必要であることから、必要に応じて専門機関との連携を図る。

5　長時間にわたる保育

保育所で長時間過ごす子どもについては、一日の生活の流れを見通し、子どもの発達過程や心身の状態に十分配慮して保育を行う。また、職員と家庭との連携を十分に図りながら子どもが負担なく落ち着いて過ごせるよう対応していく。

6　健康及び安全管理

子どもの健康に関する保健計画に基づき、園医健診（乳児年６回、幼児年３回）、歯科検診（年１回）、身体測定（乳児年 12 回・幼児年３回）などを実施し、一人一人の子どもの健康の保持及び増進を図る。

事故防止のために子どもの心身の状態を踏まえつつ、保育所内外の安全点検に努め安全指導を行う。火災や地震などの災害に備えて、施設・整備の安全点検を行うとともに、定期的に避難訓練を実施する。

健康な生活の基本として「食を営む力」の育成に向け、乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助が行えるよう、食育計画を作成し保育の計画に位置づける。

7　保護者に対する支援

子どもの最善の利益を考慮しながら、子どもが成長していく過程を保護者と共有し、相互理解を深め信頼関係を基本に職員と連携を図っていく。

保育・子育て支援センターとしての機能を十分発揮できるよう、子育て支援担当係とともに連携しながら全ての子育て家庭への支援を行っていく。

8　小学校との連携

子どもの生活や発達の連続性を踏まえ、保育所での保育が就学以降の生活や学習の基盤になると考えることから、子どもの育ちを小学校以降の生活につなげるために、保育所から小学校へ札幌市保育所児童保育要録を送付する。

近隣の小学校と交流を行い、積極的な連携を図る。

9　地域との連携

保育・子育て支援センターが地域の子育ての拠点として、保育所機能の開放、子育てサロン、子育てに関する相談・援助、子育てに関する情報の提供等の機能を発揮し、子どもの育ちと子育てを支えていく。

近隣幼稚園・小学校・中学校・高校との交流を行っていく。

10　評価・改善について

保育の根幹となる「全体的な計画」を全職員が共通理解し、それに基づく具体的な指導計画を作成し、札幌市公立保育園における保育士等の自己評価・園の自己評価を実施し、保育の質の向上へとつなげていく。

園の自己評価は、保護者や地域に公表するとともに、課題の解決に向けて取り組んでいく。

11　研修

自己評価を基に、体系的、計画的に研修を行い、必要な知識及び技術の習得や維持に努め、保育の質の向上を図る。

職員一人一人の意欲が向上し、課題をもって主体的に取り組めるよう、研修を通して組織の活性化を図る。

12　保育の形態およびクラス編成について

保育の計画を実施するにあたり、発達過程に応じて柔軟に保育を展開していく。入所している全ての子どもが自己を発揮し主体的に活動できるよう、また、様々な友達関係を通して社会性が育まれるよう年齢保育、異年齢保育などの保育形態とする。

年齢保育では、同年齢の友達と関わり共感し合い、目的を共有しながら成長、発達できるようする。

異年齢保育では、年齢の低い子は高い子への憧れから生活習慣などが身に付いて

いくことが多く、年齢の高い子は低い子への思いやりの気持ちが育ち、豊かな人間関係が培われると考える。個人差が大きいため、適切な環境整備と援助を行い柔軟な対応をする。

・乳児…年齢０，１クラス（各１クラス）

・幼児…年齢クラス

２歳児（２クラス）

３・４・５歳児（各１クラス）の年齢活動を行う

異年齢クラス（３・４・５歳児混合３グループ）※活動日は未定

令和６年度　　年間指導計画　　０歳児

年間目標	・生活リズムが安定し、心地よく過ごせるようにする。 ・生理的欲求を満たしてもらい、安心した気持ちで過ごせるようにする。 ・一人一人の発育に応じて十分に体を動かし、発達を促す。				
年間区分	Ⅰ期　（４・５月）		Ⅱ期　（６・７・８・９月）		
子どもの姿	･環境の変化により不安で泣くことがあるが、特定の保育士との関わりで徐々に慣れていく。		・生活リズムが整ってくる。 ・人見知りや、後追いが見られる。		
ねらい	・生活リズムを把握し、少しずつ園生活に慣れるようにする。		・子どもの気持ちを受けとめ、保育士との愛着関係を深める。		
月目標	＜４月＞　新しい環境に慣れる。 ＜５月＞　春の自然に親しむ。		＜６月＞　戸外で遊ぶことを楽しむ。 ＜７・８月＞　水に親しみ、夏の遊びを楽しむ。 ＜９月＞　戸外で様々な遊びを楽しむ。		
養護		＜内　　容＞	＜環境構成および援助＞	＜内　　容＞	＜環境構成および援助＞
	生命	・授乳や睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、心地よく生活できるようにする。	・家庭と連携を取りながら、生活の流れ、健康状態を把握し、一人一人の生理的欲求が満たされるようにする。 ・おむつ交換は、言葉をかけながら優しく行い、皮膚や便の状態を把握する. ・母乳、ミルクの量や授乳間隔、乳首など子どもの状態に合わせて、家庭と連携して進めていく。	・授乳や睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、心地よく生活できるようにする。 ・離乳食に慣れ、機嫌よく食べる。	・一人一人の生活リズムを大切にし、心地よく過ごせるようにしていく。 ・おむつ交換は、言葉をかけながら優しく行い、皮膚や便の状態を把握する。 ・こまめに汗を拭いたり着替えたりして清潔に過ごせるようにする。 ・食欲、体調、機嫌を考慮し、家庭と連携して進めていく。
	情緒	・新しい環境に慣れるよう子どもの気持ちを受けとめ、欲求に応じて愛着関係を築く。	･子どもの思いや欲求を受け止め、応答的な関わりをする。	・安心できる保育士との応答的な関わりの中で、愛着関係を深める。	・甘えや欲求など、一人一人の気持ちを受け止め、保育士との愛着関係を深めて、安心して過ごせるようにする。
乳児期に係る3つの視点	◎健やかに伸び伸び育つ ◎身近な人と気持ちが通じ合う ◎身近なものと関わり感性が育つ	・保育士と一緒に外気浴や園庭遊びを楽しむ。 ・寝返りや腹ばいをしたり、伸び伸びと手足を動かしたりしながら楽しむ。 ・玩具を握る、振る、口に入れるなどして感触を楽しむ。	・戸外に出て気分転換をしたり、開放感を味わえるようにする。 ・身の回りの安全と衛生面に配慮し、伸び伸びと遊べるようにする。 ・口に入れて確かめる時期なので、安全で清潔な玩具を用意する。	・腹ばいやずりばいなど、体を動かして遊ぶ。 ・玩具を握る、振る、口に入れるなどして感触を楽しむ。 ・保育士と触れ合うことを楽しむ。	・伸び伸びと体を動かして遊べるよう、安全な環境を整える。 ・口に入れて確かめる時期なので、安全で清潔な玩具を用意する。 ・特定の保育士との信頼関係をもとに、人との触れ合いを楽しめるようにする。
		・静かな環境の中でゆったり過ごす。	・月齢差等に配慮し、活動に合わせて空間や部屋の使い方を工夫する。 ・保育士の表情豊かな関わりの中で、心地よさを感じられるようにする。	・身近な自然に触れて遊ぶ。 ・水に触れ、感触に親しむ。	・一人一人が興味をもてるような声かけをしたり、子どもの思いに応えたりしながら、身近な自然に触れることを楽しめるようにする。 ・一人一人の発達に合わせて、安全に水遊びを楽しめるようにする。
		・保育士との関わりの中で、喃語を発したり、泣いたり笑ったりして自分の思いを表現する。	・1対1の関わりを大切にし、子どもの気持ちを受け止め応答的に関わる。	・保育士の言葉かけに表情で応えたり、喃語を発したりして自分の思いを表現する。	・優しく話しかけたり、あやしたりしながら一人一人の表現に応え、応答的に関わる。
健康及び安全	・一人一人の健康、発達状態を把握をする。 ・室内外の安全点検を行う。（環境整備、遊具消毒） ・SIDS予防を行う。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で理解し、対応できるようにする。 ・股関節脱臼に注意し、対応できるようにする。		・夏季に多い疾患（熱中症、皮膚の疾患）の予防に努める。 ・天候や気温に合わせ衣類の調整を行い、水分補給をしながら快適に過ごせるようにする。 ・室内外の安全点検を行う。 ・SIDS予防を行う。 ・股関節脱臼に注意し、対応できるようにする。		
家庭との連携	・初めての保育園生活の様子をこまめに伝え、安心できるようにする。 ・子どもの様子を知らせ、園との信頼関係を築く。（懇談会） ・衣類の調整や爪の管理、衛生について個別に知らせていく。		・子どもの遊びの変化や様子を丁寧に伝える。 ・水遊びの準備について知らせる。 ・衣類の調整や爪の管理、衛生について個別に知らせていく。		
地域との連携	・一年間の行事や予定を知らせる。		・行事の案内、ボランティアや職業体験の学生と触れ合う。		
遊び	ガラガラ、歯がため、つりメリー、スイッチ遊び 触れ合い遊び、わらべうた、外気浴（園庭、公園）		スイッチ遊び、ユニットサーフ、わらべうた 触れ合い遊び、水遊び、園庭（探索、ボールなど）、トンネル、ままごと		
行事			運動会		

<table>
<tr><th colspan="2">Ⅲ期　（10・11・12月）</th><th colspan="2">Ⅳ期　（１・２・３月）</th></tr>
<tr><td colspan="2">・探索活動を活発に行う。
・はいはいやつかまり立ち、指差しなどでの意思表示が見られる。</td><td colspan="2">・伝い歩き、一人歩きなどの活動が活発になる。
・周りの子どもの姿や遊びに興味をもち始める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">・保育士との関わりを大切にしながら、発達に合った遊びを楽しめるようにする。</td><td colspan="2">・様々な遊びに興味をもち、十分楽しめるように働きかける。
・保育士が仲立ちとなり子ども同士が触れ合って遊べるようにする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">＜10月＞　秋の自然に触れて遊ぶことを楽しむ。
＜11・12月＞　保育士と一緒に様々な遊びを楽しむ。</td><td colspan="2">＜１月、２月＞　冬の遊びに親しむ。

＜３月＞　保育士や友達と、様々な遊びを楽しむ。</td></tr>
<tr><td>＜内　　容＞</td><td>＜環境構成および援助＞</td><td>＜内　　容＞</td><td>＜環境構成および援助＞</td></tr>
<tr><td>・心地よい環境の中で、伸び伸びと生活できるようにする。

・食事を喜び、手づかみで食べようとする。

・保育士との信頼関係を深め、安心した気持ちで過ごせるようにする。</td><td>・一人一人の生活リズムを大切にし、心地よく過ごせるようにしていく。
・おむつ交換は、言葉をかけながら優しく行い、皮膚や便の状態を把握する.
・室内外の気温や、湿度の確認、衣類の調節を行い、快適に生活できるようにする。
・一人一人の咀嚼の状態や食べ方を把握し、家庭と連携して進めていく。
・自分で食べようとする気持ちを大切にし、関わる。
・子どもの気持ちを受け止めたり、共感したりしながら応答的に関わる。</td><td>・心地よい環境の中で、伸び伸びと生活できるようにする。

・手づかみや食具を使って自分で食べようとする。

・一人一人の欲求を十分に満たし安心した気持ちを表せるようにする。</td><td>・一人一人の生活リズムを大切にし、遊び、食事、睡眠など、バランスの取れた活動ができるようにする。
・おむつ交換は、言葉をかけながら優しく行い、皮膚や便の状態を把握する。

・自分で食べようとする気持ちを大切にし、食具への興味をもつよう促す。

・一人一人の気持ちに応答的に関わり、自分の思いを伸び伸びと表現できるようにする。</td></tr>
<tr><td>・つかまり立ちや伝い歩きなど、体を十分に動かすことを楽しむ。

・保育士と一緒に様々な遊びを楽しむ。

・身近な自然に触れて遊ぶ。

・指差しや発声で気持ちや欲求を伝えようとする。

・手指を使った遊びを楽しむ。

・保育士の歌や触れ合い遊びに心地よさを感じ、楽しむ。</td><td>・探索活動が多くなり、遊ぶ範囲が広がってくるため、室内外の安全を確認し、環境を整える。
・子どもの興味や動きに照らし合わせて玩具を用意し、遊びやすい環境を整える。

・自然や様々な感触の遊びを通して、一人一人の気付きを大切にする。
・ゆっくりわかりやすい言葉で話しかけ、子どもとのやり取りを楽しめるようにする。
・指先の発達を促す遊びを取り入れる。
・子どもが喜ぶ歌や遊びを繰り返し行い、心地よさや楽しさを感じられるようにする。</td><td>・立つ、伝い歩きなど、全身を使った運動を楽しむ。
・友達に興味をもつ。

・手指を使った遊びを楽しむ。

・雪に触れ、感触に親しむ。

・指差しや発声で気持ちや欲求を伝えようとする。

・保育士や友達と一緒に、リズムに合わせて体を動かして楽しむ。</td><td>・一人一人の発達に合わせ、十分な活動ができるよう安全な環境を整える。
・保育士が仲立ちとなり友達に興味がもてるようにする。

・落ち着いた環境の中で、指先の発達を促す遊びを十分に取り組めるようにする。
・安全な環境の中で雪に触れ、感触を楽しめるようにする。
・ゆっくり分かりやすい言葉で話しかけ、子どもとのやり取りを楽しめるようにする。
・発達や興味に合わせた歌や手遊び、体操を取り入れ一緒に行いながら楽しめるようにする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">・室温、湿度の調節、換気に留意する。
・薄着を心がけ、衣類の調整をする。
・室内外の安全点検を行う。
・SIDS予防を行う。
・股関節脱臼に注意し、対応できるようにする。</td><td colspan="2">・室温.湿度の調節.換気に留意する。
・室内外の安全点検を行う。
・SIDS予防を行う。
・股関節脱臼に注意し、対応できるようにする。
・室内や玩具の消毒を行い、冬にかかりやすい感染症の予防に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">・子どもの興味や関心を伝え、成長していく姿や心情を喜び合う。
・雪遊びの準備について知らせる。
・衣類の調整や爪の管理、衛生について個別に知らせていく。</td><td colspan="2">・子どもの成長や発達の様子を伝え、喜び合い進級に期待がもてるようにする。（個人懇談、保育参観）
・進級にあたっての準備について知らせる。
・衣類の調整や爪の管理、衛生について個別に知らせていく。</td></tr>
<tr><td colspan="2">・行事の案内、ボランティアや職業体験の学生と触れ合う。</td><td colspan="2">・行事の案内、ボランティアや職業体験の学生と触れ合う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ポットン落とし、絵本、ユニットサーフ、戸板、ボール、風船あそび、トンネル、シール貼り、描画（クーピー）、触れ合い遊び、わらべうた、体操、園庭（探索、ボールなど）、散歩</td><td colspan="2">絵本、ブロック、人形遊び、ままごと、ユニットサーフ、戸板、描画（クーピー）、シール貼り、積み木、触れ合い遊び、手遊び、わらべうた、雪遊び（そり、ままごと、雪だるま）</td></tr>
<tr><td colspan="2">クリスマス会</td><td colspan="2">お店屋さんごっこ、節分、生活発表会、大きくなったね会、クラス移行</td></tr>
</table>

令和６年度　　年間指導計画　　１歳児

年間目標	・日々の生活や遊びの中で好奇心をもって意欲的に遊ぶ。 ・一人一人が十分に受け入れられていると感じ、いきいきと生活する。 ・簡単な身の回りのことを自分でしようとし、できたことを喜ぶ。				
年間区分	Ⅰ期　（４・５月）		Ⅱ期　（６・７・８・９月）		
子どもの姿	・新しい環境になり、新入園児・在園児共に不安を感じる子もいるが、落ち着いてくると、好きな玩具を手に取り遊ぶようになる。		・園での生活に慣れ、生活リズムが整ってくる。 ・行動範囲が広がり、室内外の探索活動が盛んになる。		
ねらい	・新しい環境に慣れ、安心して生活する。		・戸外遊びを楽しむ。 ・夏の遊びを楽しむ。		
月目標	＜４月＞　新しい環境に慣れる。 ＜５月＞　春の自然に触れて遊ぶ。		＜６月＞　戸外で様々な遊びを楽しむ。 ＜７・８月＞　水に親しみ、夏の遊びを楽しむ。 ＜９月＞　戸外で体を動かして遊ぶ。		
養護	生命	＜内　　容＞ ・一人一人の健康や心身の発達段階を把握し、心地よく過ごせるようにする。 ・食事や睡眠など、園での生活リズムに慣れるようにする。 ・保育士や友達と楽しい雰囲気の中で食事をする。 ・落ち着いた雰囲気の中で安心して眠れるようにする。	＜環境構成および援助＞ ・家庭との連携を取りながら、一人一人の生活の流れ、健康状態を把握し丁寧な関わりをする。 ・一人一人の子どもの欲求を十分に満たし、心地よく過ごせるようにする。 ・一人一人の姿を把握し、気持ちに寄り添った関わりをする。 ・一人一人の状態を把握し、手づかみや食具を使って自ら食べられるようにする。 ・個々の様子に合わせて側につき、安心して眠り、体を休めることができるようにする。	＜内　　容＞ ・子どもの行動範囲を把握し、安全に配慮して十分活動できるようにする。 ・一日の生活リズムを見通し、静と動の活動のバランスを取り、適切な食事や休息が取れるようにする。 ・いろいろな食材に興味をもち、手づかみや食具を使って食べようとする。 ・落ち着いた雰囲気の中で安心して眠れるようにする。	＜環境構成および援助＞ ・環境整備に十分に留意し、危険が無いように配慮する。 ・暑い日は木陰を利用したり、早めに室内に入ったりし、休息や水分補給を行い、熱中症の予防に十分に努める。 ・自分で食べたい気持ちを尊重しながら褒めたり励ましたりして意欲的に食べられるようにする。 ・個々の様子に合わせて側につき、安心して眠り、体を休めることができるようにする。
	情緒	・一人一人の気持ちを受け止め、安心して過ごせるようにする。	・一人一人の気持ちを受け止め、丁寧に関わり、安心して過ごせるよう信頼関係を築いていく。	・子どもとの信頼関係を築き、安心して生活できるようにする。	・子どもが落ち着いて生活できるよう、一人一人の甘えや不安、欲求を受け止め、安心して過ごせるようにする。
教育	健康	・外気に触れ戸外遊びを楽しむ。	・外気に触れる心地よさを感じたり、春の自然に親しめるようにしたりする。	・戸外で体を動かして遊ぶ。 ・自分の持ち物や身の回りのことに興味をもつ。	・芝生や坂道など様々な環境で体を動かし、遊ぶことを楽しめるようにする。 ・一人一人に丁寧に関わり、身の回りのことに興味がもてるようにする。
	人間関係	・保育士や友達と過ごす心地よさを感じ、安心して過ごす。	・一人一人の気持ちを十分に受け止め、落ち着いた雰囲気の中で安心して過ごせるようにする。	・保育士や友達に興味や関心をもつ。	・保育士と一緒に様々な遊びを楽しみ、友達や周りのものに興味がもてるようにする。
	環境	・落ち着いた環境の中で生活する。	・発達に合った玩具を用意し、興味をもって遊べるようにする。 ・身の回りの安全、衛生面の点検を十分に行い、伸び伸びと遊べるようにしていく。	・身近な自然に触れ、興味をもつ。 ・水遊びや砂遊びを楽しむ。	・戸外遊びや散歩を通して身近な草花や虫などに触れることを楽しめるようにする。 ・安全で楽しく水遊びや砂遊びができるように環境を整える。
	言葉	・指差しや、簡単な言葉で自分の気持ちを表現しようとする。	・子どもの思いを汲み取り、言葉や表情を受け止め応答的に関わる。	・身振りや簡単な言葉で自分の思いを表現しようとする。	・ゆっくりと分かりやすい言葉で話しかけ、保育士とやり取りする楽しさを感じられるようにする。 ・共感したり代弁したりしながら、伝えようとする気持ちを受け止める。
	表現	・保育士のすることに興味をもち、わらべうたや体操、手遊びを楽しむ。	・子どもたちに親しみのあるわらべうたや体操、手遊びを保育士も一緒に行うことで、楽しめるようにする。	・手遊びをしたり、歌に合わせてリズムを取ったりし、喜んで体を動かす。 ・描いたりつくったりすることを楽しむ。	・保育士自身も楽しく歌ったり踊ったりすることで、楽しさを感じられるようにする。 ・用具の使い方を知らせ、安全に使えるように配慮する。
健康及び安全	・一人一人の健康.発達状態を把握をする。 ・室内外の安全点検を行う。（環境整備、遊具消毒） ・SIDS予防を行う。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で理解し、対応できるようにする。 ・遊びのルールや保育室の使い方を知らせる。 ・手洗いの習慣が身に付くように知らせる。		・夏季に多い疾患（熱中症、皮膚の疾患）の予防に努める。 ・天候や気温に合わせ衣類の調整を行い,水分補給をしながら快適に過ごせるようにする。 ・室内外の安全点検を行う。 ・SIDS予防を行う。		
家庭との連携	・保育園生活の様子をこまめに伝え、安心できるようにする。 ・園生活の様子を知らせ、園との信頼関係を築く。（懇談会）		・夏の時期の子どもの遊びの変化や様子を丁寧に伝える。 ・水遊びの準備について知らせる。		
地域との連携	・一年間の行事や予定を知らせる。		・行事の案内、ボランティアの受け入れ、職業体験の学生と触れ合う。		
遊び	園庭（探索、ボール）、大型車、ユニットサーフ、戸板 ブロック、ぽっとんおとし、トイカー、ままごと、人形遊び 季節の歌、手遊び、体操、絵本		園庭、（探索、おいかけっこ、砂遊び、大型車、草ままごと、シャボン玉）、散歩、水遊び、絵の具、新聞紙遊び、制作 季節の歌、手遊び、体操、絵本		
行事			運動会		

Ⅲ期　（10・11・12月）		Ⅳ期　（１・２・３月）	
・全身を使って走ったり跳んだりするなど動きが活発になり、行動範囲が広がる。 ・一人でじっくり遊んだり、友達とやり取りをしたりしながら同じ遊びを楽しむようになってくる。 ・簡単な身の回りのことを保育士と一緒に自分でしようとする。		・そり遊び、尻すべりなど雪遊びを楽しむ。 ・友達と関わって遊ぶ中で、自分の要求を簡単な言葉で表そうとする。 ・幼児クラスの環境や子どもたちに関心をもつようになる。	
・全身を使った遊びを十分に楽しむ。 ・秋の自然に親しみ、自然物に触れて遊ぶ。		・保育士や友達と一緒に簡単なごっこ遊びや表現遊びを楽しむ。 ・冬の遊びを楽しむ。	
＜10月＞　秋の自然に触れ、戸外遊びを楽しむ。 ＜11月＞　保育士や友達と一緒に好きな遊びを楽しむ。 ＜12月＞　ごっこ遊びを楽しむ。冬の遊びを楽しむ。		＜１月＞　ごっこ遊びを楽しむ。冬の遊びを楽しむ。 ＜２月＞　保育士や友達と一緒に表現することを楽しむ。 ＜３月＞　大きくなったことを喜び幼児クラスに関心をもつ。	
＜内　　容＞	**＜環境構成および援助＞**	**＜内　　容＞**	**＜環境構成および援助＞**
・気温や湿度の確認、衣類の調整を行い、過ごしやすい環境を整え、快適に生活できるようにする。 ・安全な環境に配慮して様々な遊びを楽しめるようにする。 ・排泄に興味をもてるようにする。 ・食具を使って意欲的に食べる。 ・落ち着いた雰囲気の中で安心して眠れるようにする。	・体調や気温に合わせて快適に過ごせるように衣類の調整や、室温、湿度、換気に留意する。 ・室内外の環境を整備し、危険のないよう遊びの設定を工夫する。 ・オムツを替えながら清潔になることの心地よさを知らせたり、排泄に興味をもてるようにトイレに誘ったりする。 ・食べたい気持ちを尊重しながらスプーンやフォークの使い方を知らせていく。 ・個々の様子に合わせて側につき、安心して眠り体を休めることができるようにする。	・一人一人の体調の変化に留意し、健康に過ごせるようにする。 ・安全な環境に配慮し、積極的に様々な活動ができるようにする。 ・トイレに興味を示し、保育士に見守られながらトイレで排泄しようとする。 ・食具を使ったり皿を支えたりして意欲的に食べる。 ・落ち着いた雰囲気の中で安心して眠れるようにする。	・一人一人の体調の変化に気をつけるとともに、手洗いや鼻かみの仕方を知らせる。 ・一人一人の思いを尊重し、受け止め見守りつつ、保育士と一緒に様々な活動を楽しめるようにする。 ・一人一人の排泄間隔に合わせて声を掛け、トイレに排尿できたときには褒めたり一緒に喜んだりすることで、できて嬉しい気持ちが育つように関わる。 ・スプーンやフォークを使ったり皿を支えたりして食べるよう声をかけていく。 ・個々の様子に合わせて側につき、安心して眠り、体を休めることができるようにする。
・自分でしたい思いや、甘えたいという気持ちを受け止め、安心して過ごせるようにする。	・一人一人の甘えや欲求を受け止め、安心して生活できるようスキンシップを取るなどして信頼関係を深める。	・子どもの思いをやさしく受容し、一人一人の成長を認め、意欲的に生活し、自信がもてるようにする。	・一人一人の気持ちを優しく受け止め、子どもが安心して自分を表現できるように対応する。
・戸外や室内で十分に体を動かして遊ぶ。 ・保育士と一緒に簡単な身の回りのことを自分でしようとする。	・子どもたちの興味や発達に応じて歩く、走る、跳ぶなど全身を使った遊びを工夫する。 ・一人一人丁寧に関わり、身の回りのことの行い方を分かりやすく知らせる。	・寒さに慣れ、元気に遊ぶ。 ・保育士に見守られながら簡単な身の回りのことを自分でしようとする。	・気温や体調を考慮したり、身支度を整えたりし、元気に遊べるようにする。 ・身の回りのことの行い方を知らせ、自分でできることは見守り、できないところを援助しながら意欲を育てる。
・保育士や友達に親しみをもち、模倣して遊ぶ。	・保育士が仲立ちとなり、友達との関わりがもてるようにする。	・保育士や友達と簡単なやり取りをしながら楽しく遊ぶ。 ・幼児クラスと交流をもちながら、進級することに期待をもつ。	・保育士が仲立ちとなって、遊びを展開することで、友達とのやり取りが楽しめるようにする。 ・幼児クラスとの交流の機会をもち、進級への期待が高まるようにする。
・木の実や落ち葉に触れたり見たりし、自然物を使って遊ぶ。	・戸外遊びや散歩を通して、木の実や落ち葉などに触れて遊ぶことができるよう保育士も一緒に遊び、楽しさを共有していく。	・雪に触れるなどし、冬の自然に親しむ。	・保育士も一緒に雪に触れ驚きや楽しさを共有していく。
・自分の気持ちを一語文や二語文で表現しようとする。 ・保育士とのやり取りを通して、言葉の繰り返しや模倣遊びを楽しむ。	・共感したり、代弁したりしながら、言葉や動作での表現を促す。 ・興味のある絵本や紙芝居を用意し、やり取りを繰り返し楽しめるようにする。	・保育士や友達と、生活や遊びの中で簡単な言葉のやり取りをする。	・保育士が仲立ちとなり、それぞれの伝えたい気持ちを受け止め、言葉での伝え方を知らせていく。
・保育士や友達と一緒に、歌ったり踊ったりすることを楽しむ。 ・描いたりつくったりすることを楽しむ。	・保育士も一緒に楽しみながら、様々な表現ができるようにしていく。 ・様々な用具や素材に触れる機会をもてるようにする。	・保育士や友達と一緒に、簡単なごっこ遊びを繰り返し楽しむ。 ・保育士や友達と一緒に、歌ったり踊ったりすることを楽しむ。	・一人一人の遊びを尊重しつつ、保育士や友達と様々な遊びを楽しめるよう援助する。 ・保育士も一緒に楽しみながら、様々な表現ができるようにしていく。
・室温.湿度の調節.換気に留意する。 ・薄着を心がけ、衣類の調整をする。 ・室内外の安全点検を行う。 ・SIDS予防を行う。		・室温.湿度の調節.換気に留意する。 ・室内外の安全点検を行う。 ・SIDS予防を行う。	
・子どもの興味や関心を伝え、成長していく姿や心情を喜び合う。 ・雪遊びの準備について知らせる。		・子どもの成長や発達の様子を伝え、喜び合い進級に期待がもてるようにする。　（個人懇談、保育参観） ・進級にあたっての準備について知らせる。	
・行事の案内、ボランティアの受け入れ、職業体験の学生と触れ合う。		・行事の案内、ボランティアの受け入れ、職業体験の学生と触れ合う。	
園庭（探索、かくれんぼ、かけっこ、砂遊び）、散歩（公園）、制作、楽器遊び、巧技台遊び、ごっこ遊び、粘土遊び、型はめパズル、ひも通し、季節の歌、手遊び、体操、絵本、わらべうた遊び		雪遊び パズル、ごっこ遊び、粘土遊び、制作 季節の歌、手遊び、体操、絵本	
クリスマス会		お店屋さんごっこ、節分、生活発表会、大きくなったね会、クラス移行	

令和６年度　　年間指導計画　　２歳児

年間目標	・安心できる環境のもとで、基本的生活習慣を身に付け、自分でしようとする。 ・様々な運動遊びを通して、体を動かすことを楽しむ。 ・言葉のやり取りをしながら保育士や友達と関わって遊ぶことを楽しむ。				
年間区分	Ⅰ期（４・５月）		Ⅱ期（６・７・８・９月）		
子どもの姿	・新しい環境に対する不安、緊張、期待など様々な気持ちが表れる。 ・保育士と一緒に、好きな遊びを見つけ、楽しむ。		・生活の流れが分かり、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・一日の生活の中で、保育士や友達に興味をもち関わろうとする。 ・友達と関わって遊ぶ中で、物の取り合いなどのトラブルが多くなる。		
ねらい	・新しい環境に慣れ安心して生活する。 ・一日の生活の流れを知る。		・夏の遊びを楽しむ。 ・保育士や友達と一緒に様々な遊びを楽しむ。		
月目標	＜４月＞新しい環境に慣れ,安心して生活する。 ＜５月＞春の自然に触れて遊ぶ。		＜６月＞　戸外で体を動かして遊ぶ。 ＜７・８月＞　水や泥に触れ、夏の遊びを楽しむ。 ＜９月＞　保育士や友達と体を動かして遊ぶ。		
養護		＜内　　容＞	＜環境構成および援助＞	＜内　　容＞	＜環境構成および配慮＞
	生命	・食事、排泄、午睡などの安定を図り、適切な生活リズムがつけられるようにする。 ・手洗いの習慣が身に付くようにする。	・個々の発達に配慮し、落ち着いた環境の中で、生活できるようにする。 ・正しい手洗いの仕方を知らせる。	・健康状態に気を配りながら、活動と休息のバランスを取り、快適に過ごせるようにする。 ・保育士に促されて、トイレで排泄しようとする。 ・正しいうがいの仕方を知る。	・夏の感染症に留意し、個々の健康状態を把握する。 ・静と動のバランスの取れた活動を考える。 ・個々の排泄の状態に合わせてトイレに誘い、成功した時は褒める。 ・正しいうがいの仕方を知らせ
	情緒	・不安や要求を受け止めてもらい、安心して自分の気持ちを表せるようにする。	・一人一人の気持ちを受け止め、安心して過ごせるように信頼関係を築いていく。	・保育士に甘えたい気持ちを受け止めてもらいながら、意欲的に生活できるようにする。	・甘えたい気持ちを受け止め、自分でしようとする気持ちを大切にしながらできた時は十分に褒める。
教育	健康	・保育士と一緒に、好きな遊びを楽しむ。	・子ども一人一人の健康状態や発達を把握し、保育士や友達と遊ぶ中で伸び伸びと体を動かせるようにする。	・保育士や友達と一緒に戸外で十分に体を動かして遊ぶ。 ・保育士に見守られながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。	・危険の無いよう見守りながら、走る、跳ぶ、登るなど、全身を使って遊べるよう環境を整える。 ・具体的な仕方や方法を知らせ、自分でできた時には十分に褒めて、意欲を育てる。
	人間関係	・保育士や友達との安定した関わりの中で安心して過ごす。	・保育士も一緒に遊びながら好きな遊びを安心して楽しめるようにする。	・保育士に気持ちを受け止めてもらいながら、少しずつ友達との関わりをもとうとする。	・子ども同士の関わりがもてるように、仲立ちとなったり、遊びを援助したりする。
	環境	・戸外遊びを通して、春の自然に触れる。 ・自分の持ち物の置き場所や遊具の置き場所を知る。	・安全で活動しやすい環境での探索活動等を通して、見る、聞く、触れるなどの感覚を味わう。 ・自分の持ち物の置き場が分かるようマークを決め知らせる。 ・子どもが自分で遊具を出し入れしやすいようにし、絵表示やラベルを貼るなどして置き場所を明確にする。	・夏の遊びを十分に楽しむ。	・危険の無いよう見守りながら、安全に水や泥遊びを楽しめるようにする。 ・戸外遊びや散歩を通して、虫や草花などに触れることを楽しめるようにする。
	言葉	・自分の思いを発声や簡単な言葉で伝えようとする。	・伝えたい気持ちを受け止め、代弁しながら、言葉で表現できるようにする。	・自分の気持ちや要求を言葉で表現しようとする。	・子どもの話や言葉を優しく受け止め、話す意欲を引き出せるようにする。
	表現	・手遊びや歌、リズム遊びを楽しむ。	・保育士と一緒に季節の歌や体操を楽しめるようにする。	・保育士や友達と一緒に、全身を使って踊ったり歌ったりすることを楽しむ。 ・描いたりつくったりすることを楽しむ。	・保育士も一緒に遊びを楽しみ、伸び伸びと遊べるよう援助していく。 ・用具の使い方を知らせ、安全に使えるように配慮する。
健康及び安全		・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で理解し、対応できるようにする。 ・一人一人の健康、発達状態を把握する。 ・遊びのルールや保育室の使い方を知らせる。 ・室内外の安全点検を行う。（環境整備、遊具消毒） ・手洗いの習慣が身に付くように知らせる。		・夏季に多い疾患（熱中症・皮膚の疾患）の予防に努める。 ・天候や気温に合わせ衣類の調整を行い、水分補給をしながら快適に過ごせるようにする。 ・室内外の安全点検を行う。 ・交通ルールを知らせる。	
家庭との連携		・保育園生活の様子をこまめに伝え、安心できるようにする。 ・子どもの様子を知らせ、園との信頼関係を築く。　（懇談会）		・夏の時期の子どもの遊びの変化や様子を丁寧に伝える。（保育参観） ・水遊びの準備について知らせる。	
地域との連携		・一年間の行事や予定を知らせる。		・行事の案内、ボランティアの受け入れ、職業体験の学生と触れ合う。	
遊び		ままごと、ブロック、パズル、粘土、絵本、シャボン玉、描画 園庭（砂場、虫探し） 手遊び、季節の歌、わらべうた遊び、リズム遊び、体操		園庭（砂場、かけっこ、虫探し）、散歩、パズル、ままごと、ブロック,水遊び（シャボン玉、泥遊び、フィンガーペインティング、色水）、季節の歌、集団遊び(ストップゲーム、むっくりくまさんなど)	
行事				運動会	

Ⅲ期（10・11・12月）		Ⅳ期（１・２・３月）	
・身の回りのことを自分でしようとする。 ・全身を使った遊びを楽しむようになる。 ・少人数でごっこ遊びや集団遊びができるようになり、友達との関わりが増える。		・気の合う友達と一緒に様々な遊びを楽しむ。 ・友達や保育士と一緒に、簡単なルールのある遊びを楽しむ。 ・異年齢児と交流をもつことで、進級することに期待をもつようになる。	
・自然に触れながら、十分に体を動かして遊ぶ。 ・保育士や友達と関わりながら様々な遊びを楽しむ。		・冬の遊びを楽しむ。 ・進級に期待をもち、身の回りのことを進んで行おうとする。 ・興味のあることや経験したことを、自分なりの言葉で表わそうとする。	
＜10月＞　秋の自然に親しむ。 ＜11月＞　保育士や友達とごっこ遊びを楽しむ。 ＜12月＞　保育士や友達と一緒に様々な遊びを楽しむ。		＜１月・２月＞雪遊びを楽しむ　・友達と一緒に様々な遊びを楽しむ。 ＜３月＞成長したことを喜び、進級への期待をもつ。	
＜内　　容＞	＜環境構成および配慮＞	＜内　　容＞	＜環境構成および配慮＞
・換気や湿度の調整などを行い、快適な環境で健康に過ごせるようにする。 ・トイレで排泄しようとする。	・換気や温度,湿度に十分注意し、快適に過ごせるようにする。 ・鼻かみの仕方を知らせる。 ・個々の排泄の状態に合わせてトイレに誘い、成功した時は褒める。	・感染症の予防を心がけ、一人一人の体調変化に留意して、健康に過ごせるようにする。 ・誘われて、トイレで排泄する。	・換気や温度、湿度に十分注意し、快適に過ごせるようにする。 ・手洗い、うがい、鼻かみの仕方を繰り返し丁寧に知らせる。 ・一人一人の排泄の状態に合わせてトイレに誘い、排泄の自立を促す。
・自分の気持ちを十分に受け止めてもらいながら、意欲的に生活できるようにする。	・自分でできたときは十分に褒め、意欲につなげられるようにする。	・保育士との信頼関係を基に、自信をもって生活できるようにする。	・一人でできた喜びや、自分でしようとする気持ちに共感し、自信や意欲につながるように関わる。
・保育士や友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・身の回りのことを自分でしようとする。	・子ども一人一人の運動発達を把握し、安全に遊べるよう環境を整える。 ・必要に応じて、できないところは援助し、できた喜びが自信や意欲につながるようにする。	・寒さに負けず、友達と一緒に戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・身の回りのことを自分から進んでしようとする。	・保育士も一緒に遊びを楽しみながら、安全に遊べるように見守っていく。 ・自分でしようとする気持ちを尊重し、その姿を見守り、認める。
・保育士や友達と一緒に、簡単なごっこ遊びや集団遊びを楽しむ。	・保育士も一緒に遊びながら、子ども同士の関わりがもてるようにする。	・友達と一緒にごっこ遊びや簡単なルールのある遊びを楽しむ。 ・異年齢児と交流をもつ。	・保育士も一緒に遊びながらルールを知らせ、友達と遊ぶ楽しさを味わえるようにする。 ・必要に応じて仲立ちし、子ども同士のやり取りを見守る。 ・交流を図る中で、安心して進級できるよう配慮する。
・秋の自然物を使って、遊ぶことを楽しむ。 ・遊びや生活の約束を知り、守ろうとする。	・秋の自然物を見たり触れたりして楽しみ、季節の移り変わりを感じられるようにする。 ・様々な約束を理由とともに、分かりやすく知らせる。	・冬の自然に触れて、遊ぶことを楽しむ。 ・簡単な数、形などに興味を示す。	・冬の自然に触れ、雪遊びを十分に楽しめるようにする。 ・遊びや生活の中で数、形などに触れられるようにする。
・遊びの中で保育士や友達と言葉のやり取りを楽しむ。	・伝えたい気持ちを受け止め保育士が仲立ちとなりながら、思いが伝わる満足感を味わったり、相手の気持ちに気付いたりできるようにする。	・保育士や友達に思いや要求を自分なりの言葉で伝えようとする。	・言葉で表現する姿を見守りながら、足りないところに言葉を添え、相手との仲立ちをして伝え方を知らせる。
・保育士や友達と一緒に表現することを楽しむ。 ・描いたりつくったりすることを楽しむ。	・保育士も一緒に遊びながら、子どものイメージや表現が広がるように関わる。 ・様々な用具や素材に触れる経験がもてるようにする。	・生活や遊びの中で、興味のあることや経験したことなどを自分なりに表現する。	・友達同士でイメージが共有できるよう働きかけ、繰り返し様々な遊びを体験できるようにしていく。
・室温.湿度の調節.換気に留意する。 ・薄着を心がけ、衣類の調整をする。 ・秋から冬に多い疾患の予防に努める。 ・水分補給をこまめに行う。 ・室内外の安全点検を行う。		・室温.湿度の調節.換気に留意する。 ・水分補給をこまめに行う。 ・冬季に多い疾患の予防に努める。 ・室内外の安全点検を行う。	
・子どもの興味や関心を伝え、成長を喜び合う。 ・雪遊びの準備について知らせる。		・子どもの成長や発達の様子を伝え、喜び合い、進級に期待がもてるようにする。（個人懇談） ・進級にあたっての準備について知らせる。	
・行事の案内、ボランティアの受け入れ、職業体験の学生と触れ合う。		・行事の案内、ボランティアの受け入れ、職業体験の学生と触れ合う。	
園庭（砂場、かけっこ、虫探し）、散歩、自然物を使った制作、集団遊び（椅子取りゲーム、フルーツバスケットなど） 季節の歌、ままごと、ブロック、パズル、カルタ		雪遊び（ソリ遊び、雪まごと）、こま回し、カルタなどのカードゲーム、集団遊び（しっぽ取りゲーム、だるまさんがころんだなど） 季節の歌、ままごと、ブロック、パズル	
生活発表会、クリスマス会		お店屋さんごっこ、節分、大きくなったね会、クラス移行	

令和６年度　　年間指導計画　　３歳児

年間目標	・基本的な生活習慣や遊びの約束事を身に付ける。 ・様々な活動に興味をもって、意欲的に取り組む。 ・生活や遊びの中で思いを伝え合いながら、友達との関わりを深める。				
年間区分	Ⅰ期（４・５月）		Ⅱ期（６・７・８・９月）		
子どもの姿	・新しい環境に不安や緊張をもち、戸惑う姿も見られるが、進級したことを喜び生活する。 ・基本的生活習慣などを自分でしようとするが、保育士の援助や声がけが必要な時もある。		・好きな遊びを友達と楽しむが、遊具の取り合いやトラブルになることもある。 ・戸外活動を楽しみ、自然に親しみをもつ。 ・体を動かして遊ぶことを楽しむ。		
ねらい	・新しい環境に慣れ友達や保育士と楽しく遊ぶ。		・夏の遊びを十分に楽しむ。 ・友達と触れ合いながら、様々な遊びを楽しむ。		
月目標	＜４月＞新しい環境に慣れ、生活の流れを知り行動する。 ＜５月＞春の自然に触れ、友達や保育士と遊ぶことを楽しむ。		＜６月＞身近な自然に触れ、戸外で体を動かして遊ぶ。 ＜７・８月＞水や泥に触れ、夏の遊びを楽しむ。 ＜９月＞積極的に、体を動かすことを楽しむ。		
養護	生命	＜内　　容＞ ・新しい環境の中での生活の仕方を知り、身の回りのことを身につける。 ・誘われて、トイレで排泄する。	＜環境構成および援助＞ ・新しい環境に慣れるよう、部屋の使い方を知らせていく。 ・食事の準備やトイレの使い方、正しい手洗いうがいの仕方を知らせていく。 ・個々の排泄の状態に合わせてトイレに誘い、排泄の自立を促す。	＜内　　容＞ ・保育士に促されながら、衣類の調節や水分補給をし、健康に過ごす。 ・尿意や便意を知らせ、トイレで排泄する。	＜環境構成および援助＞ ・夏の感染症に留意し、個々の健康状態を把握する。 ・個々の排泄の状況に合わせ、排泄の有無を知らせられるように自立を促す。
	情緒	・保育士との信頼関係を築き、安心して過ごす。	・子どもの気持ちを受け止め、安心して遊べる環境を整える。	・保育士や友達に自分の気持ちを伝え、伸び伸びと過ごす。	・子どもの気持ちを受け止めながら安心して過ごせるよう援助する。
教育	健康	・友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。	・子ども一人一人の健康状態や発達を把握し、安全に遊べるようにする。	・戸外で積極的に体を動かして遊ぶ。	・気温や天候を考慮して、活動の内容を考える。 ・一人一人の運動発達を把握し、安全に楽しめるようにする。
	人間関係	・友達や保育士と一緒に好きな遊びを楽しむ。	・保育士も一緒に遊びながら楽しさを共有し、友達と遊ぶ楽しさを味わえるようにする。	・友達や保育士と様々な遊びを楽しむ。	・友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるよう、保育士が仲立ちとなる。
	環境	・戸外に出て春の自然に触れる。	・身近な自然への興味に共感しながら季節の変化を感じられるようにする。	・夏の遊びを十分に楽しむ。	・虫や植物など、興味をもった自然物を生活や遊びに取り入れる。 ・危険のないよう見守りながら水や泥遊びを楽しめるようにする。
	言葉	・保育士や友達に思いや要求を言葉で伝える。	・子どもの気持ちを受け入れたり、代弁したりしながらやり取りを楽しめるようにする。	・遊びの中で友達との会話ややり取りを楽しむ。	・子ども同士の遊びを見守り、必要に応じて互いの気持ちを受け止め仲立ちしていく。
	表現	・描いたりつくったりすることを楽しむ。 ・音楽に合わせて体を動かし表現することを楽しむ。	・様々な素材を使い、制作を楽しめるようにする。 ・季節の歌やわらべうた、体操などを取り入れる。	・様々な素材や用具の使い方を知り、描いたりつくったりすることを楽しむ。 ・歌や踊り、ごっこ遊びを友達と一緒に楽しむ。	・素材や用具の使い方を知らせる。 ・友達と一緒に伸び伸びと表現することを楽しむ機会をつくる。
健康及び安全	・一人一人の健康.発達状態を把握をする。 ・遊びのルールや交通ルールを知らせる。 ・室内外の安全点検を行う。（環境整備、遊具消毒） ・手洗いの習慣が身に付くように知らせる。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で理解し、対応できるようにする。		・夏季に多い疾患（熱中症・皮膚の疾患）の予防に努める。 ・天候や温度に合わせ衣類の調整を行い、水分補給をしながら快適に過ごせるようにする。 ・室内外の安全点検を行う。		
家庭との連携	・子どもの様子を知らせ、園との信頼関係を築く。（懇談会）		・子どもの成長や発達の様子を伝え、喜び合い進級に期待がもてるようにする。（個人懇談） ・子どもの遊びの変化や異年齢活動の様子を丁寧に伝える。 （保育参観） ・水遊びの準備について知らせる。		
地域との連携	・一年間の行事や予定を知らせる。		・行事の案内、ボランティアの受け入れ、職業体験の学生と触れ合う。		
遊び	ブロック、ままごと、パズル、制作など 園庭（鬼ごっこ、砂場、虫探し）、散歩、季節の歌、手遊び、わらべうた		園庭（鬼ごっこ、かけっこ、運動遊び、ジャングルジム）、散歩、水遊び（シャボン玉、泥、色水、草ままごと）、　季節の歌、手遊び、集団遊び		
行事			運動会、バス遠足		

Ⅲ期（10・11・12月）		Ⅳ期（１・２・３月）	
・友達とイメージを共有し、表現遊びを楽しむことができる。 ・基本的生活習慣が身に付き、身の回りのことを自分でしようとする。 ・ルールのある遊びを楽しめるようになる。		・進級に向け、期待をもつ。 ・見通しをもって行動するようになり、身の回りのことも自分から進んでする。 ・友達との関わりが広がり、意見のぶつかり合いも増える。	
・戸外で十分に体を動かして遊ぶ。 ・保育士や友達とやり取りしながら、遊びを楽しむ。		・友達と一緒に冬の遊びを十分に楽しむ。 ・意欲的に生活し、進級に向けて期待をもつ。	
＜10月＞秋の自然に親しみ、友達と一緒に遊ぶ。 ＜11・12月＞保育士や友達とごっこ遊びや表現遊びを楽しむ。		＜１・２月＞冬の自然に親しみ、雪遊びを楽しむ。 ＜３月＞進級することに期待や喜びをもって生活する。	
＜内　　容＞	**＜環境構成および援助＞**	**＜内　　容＞**	**＜環境構成および援助＞**
・気温や活動に応じて衣類の調節をし、快適に生活しようとする。	・寒暖差に配慮し、快適に過ごす方法を知らせていく。	・手洗い、うがいなどを進んで行い、健康に過ごす。 ・感染症の予防を心がけ、快適な環境で健康に過ごす。	・鼻のかみ方やうがい、手洗い、換気の大切さなど、具体的な健康維持の方法を知らせる。
・気持ちを受け止められたり、認められたりしながら、自信をもって活動しようとする。	・子どもの発言やできたことを十分に褒めたり認めたりし、自分の気持ちを表現できるようにする。	・進級に向けて意欲的に過ごそうとする。	・自信をもって進級できるよう、自分でできた喜びに共感していく。 ・他者から自分の存在を認めてもらうことの喜びを感じ、自己肯定感が育つよう関わる。
・体を動かす遊びを積極的に楽しむ。	・体を動かす楽しさを十分に味わえるよう、安全に配慮しながら遊びを設定する。 ・集団遊びを取り入れ、友達と一緒に体を動かす楽しさを味わえるようにする。	・寒さに負けず、友達と一緒に戸外で体を動かす遊びを楽しむ。	・一人一人の体調や健康状態を把握する。 ・安全に遊ぶことができるよう、個々に合わせて丁寧に関わる。
・友達や保育士と一緒にイメージを共有しながら遊ぶことを楽しむ。	・子どもたちのイメージを汲み取りながら遊びを広げられるよう援助していく。	・友達と一緒に活動し、互いに親しみをもって関わりを深めていく。	・互いの思いを伝え合いながら遊びが広がっていくよう仲立ちしていく。
・季節の変化に興味をもち、秋の自然に触れる。	・子どもの気付きに共感し、自然物を使った遊びを楽しめるようにする。	・冬の自然に触れて、雪遊びを十分に楽しむ。 ・遊びの中で数や文字に関心をもつ。	・冬の遊びの身支度を整え、雪遊びを十分楽しめるように配慮する。 ・簡単な数や文字に対し、興味や関心がもてる遊びを取り入れる。
・友達と、自分の経験したことや気持ちを言葉で伝え合う。	・自分の思いを伝えることや友達との会話を楽しめるようにする。	・経験したことや自分のイメージを言葉で伝え、友達や保育士と共有して楽しむ。	・相手の話を聞いたり自分の気持ちを伝えたりし、自信につながるような経験ができるようにする。
・様々な素材や用具を使って、描いたりつくったりすることを楽しむ。 ・友達や保育士と一緒に同じイメージをもち、表現することを楽しむ。	・素材や用具の使い方を知らせ、描いたりつくったりできるようにする。 ・イメージが共有できるよう保育士が適切な仲立ちをし、表現遊びを楽しめるようにしていく。	・様々な素材や用具を使って描いたり作ったりすることを楽しむ。 ・様々な体験を取り入れ表現して遊ぶことを楽しむ。	・子どもが興味や関心をもてるような環境を整え、様々な表現遊びが楽しめるようにする。
・室温.湿度の調節.換気に留意する。 ・薄着を心がけ、衣類の調整をする。 ・秋から冬に多い疾患の予防に努める。 ・水分補給をこまめに行う。 ・室内外の安全点検を行う。 ・うがいの正しい方法が身に付くように知らせる。		・室温.湿度の調節.換気に留意する。 ・水分補給をこまめに行う。 ・冬季に多い疾患の予防に努める。 ・室内外の安全点検を行う。	
・子どもの興味や関心を伝え、成長していく姿や心情を喜び合う。 ・雪遊びの準備について知らせる。		・子どもの成長や発達の様子を伝え、喜び合い進級に期待がもてるようにする。（個人懇談） ・進級にあたっての準備について知らせる。	
・行事の案内、ボランティアの受け入れ、職業体験の学生と触れ合う。		・行事の案内、ボランティアの受け入れ、職業体験の学生と触れ合う。	
園庭（鬼ごっこ、かけっこ、鉄棒）、散歩、集団ゲーム 自然物を使った制作、季節の歌、手遊び、楽器遊び		雪遊び（ソリすべり、雪合戦、色雪）、かるた、すごろく、こま回し、制作、折り紙、集団ゲーム、季節の歌、手遊び	
生活発表会、クリスマス会		お店屋さんごっこ、大きくなったね会、節分、クラス移行	

令和６年度　　年間指導計画　　４歳児

年間目標	・基本的生活習慣や遊びに必要な約束を身に付け、主体的に生活する。 ・友達とのつながりを深め、友達の気持ちにも気付き、集団の中で行動できるようにする。 ・様々な活動に意欲的に取り組む。				
年間区分	Ⅰ期（４・５月）		Ⅱ期（６・７・８・９月）		
子どもの姿	・進級を喜び意欲的に生活する。 ・戸外遊びを喜び、友達と一緒に体を動かして遊ぶ。		・保育士や友達と積極的に関わりながら一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・戸外活動を楽しみ、虫や草花に興味をもつ。 ・土、砂、泥、水に触れ、遊ぶことを楽しむ。		
ねらい	・友達と一緒に好きな遊びを楽しむ。		・体を十分に動かし友達と一緒に夏の遊びを楽しむ。		
月目標	＜４月＞友達と一緒に好きな遊びを楽しむ。 ＜５月＞春の自然に触れ、体を動かして楽しく遊ぶ。		＜６月＞体を動かし自然に親しみながら友達と楽しく遊ぶ。 ＜７月・８月＞・全身を使って様々な運動遊びを楽しむ。 ・友達と一緒に夏の遊びを楽しむ。 ＜９月＞友達と一緒に目標に向かって様々な活動に挑戦しようとする。		
		＜内　　容＞	＜環境構成および援助＞	＜内　　容＞	＜環境構成および援助＞
養護	生命	・生活の仕方が分かり、食事、排泄、手洗い、うがいなど、進んで行うようにする。	・個々の基本的生活習慣がどの程度身に付いているかを把握し、自分でしようとする気持ちを育てる。	・衣類の調節、水分補給を自ら行い、健康に過ごせるようにする。	・静と動のバランスを考えた活動や水分補給、休憩を促していく。 ・感染症の予防や安全の大切さを知らせていく。
養護	情緒	・保育士や友達と安心して過ごせるようにする。	・子どもの気持ちを受け止め、日々のふれあいを通して信頼関係を築く。	・友達とのつながりを深め、その中で自分の思いを伝え、一緒に活動する楽しさを味わえるようにする。 ・様々な活動を通して挑戦する楽しさや達成感を味わえるようにする。	・自分の思いを伝えられるよう保育士が仲立ちとなり、友達と楽しく遊べるようにする。 ・友達との関わりが豊かになるような遊びを工夫する。 ・一人一人の発達を把握し、個々に合った援助を行う。
教育	健康	・戸外で友達と体を十分に動かして遊ぶ。	・子ども一人一人の体力や健康状態を把握し、安全に遊ぶことができるようにする。	・体を動かす喜びを感じながら、戸外遊びや運動遊びを十分に楽しむ。	・楽しく体を動かせるよう遊びを設定し、安全に配慮する。 ・子どもの姿に合った活動を取り入れ、体を動かすことを楽しめるようにする。
教育	人間関係	・友達と好きな遊びを楽しむ。 ・簡単なルールのある遊びを楽しむ。	・保育士が仲立ちとなったりルールを丁寧に伝えたりして、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにする。	・友達と一緒に活動しながら互いに親しみをもち、関わりを深めていく。	・一人一人の様子を把握し、友達と一緒に遊びを楽しむ中で関わりが広がるようにする。
教育	環境	・戸外で十分に遊び、自然や様々な事象に興味をもつ。	・身近な春の自然物や生き物に触れ、季節の変化を感じられるようにする。	・戸外遊びや夏の遊びを友達と一緒に楽しむ。	・虫や植物など身近な自然に触れたり、様々な水遊びを楽しんだりできるようにする。 ・水遊びの身支度や遊び方を丁寧に伝え、安全に遊ぶことができるようにする。
教育	言葉	・相手の話を聞いたり、自分の思いを言葉で伝えたりして、やり取りを楽しむ。	・子どもの気持ちに寄り添い、安心して自分の思いを言葉で伝えられるようにする。 ・話を聞く姿勢や大切さを知らせる。	・共通のイメージをもち、友達と言葉のやり取りを楽しむ。	・自分の思いを話したり、人の話を聞いたり共感したりする機会をつくる。
教育	表現	・様々な素材や用具を使い、描画や制作を楽しむ。 ・歌、踊りなどの表現遊びを楽しむ。	・素材や用具の使い方を丁寧に知らせ、正しく扱えるようにする。 ・自由に歌ったり、体を十分に動かしたりする機会をつくる。	・様々な素材や用具を使い、描画や制作を楽しむ。 ・友達と一緒に歌を歌ったり、表現したりすることを楽しむ。	・素材や用具を準備し、描画や制作に生かせるようにする。 ・みんなの前で表現する機会をつくる。
健康及び安全	・一人一人の健康、発達状態を把握をする。 ・遊びのルールや交通ルールを知らせる。 ・室内外の安全点検を行う。（環境整備、遊具消毒） ・手洗い、うがい、鼻かみ、咳エチケットの習慣が身に付くように知らせる。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で理解し、対応できるようにする。		・夏季に多い疾患（熱中症・皮膚の疾患）の予防に努める。 ・天候や温度に合わせ衣類の調整を行い、水分補給をしながら快適に過ごせるようにする。 ・室内外の安全点検を行う。		
家庭との連携	・子どもの様子を知らせ、信頼関係を築く。（懇談会）		・夏の時期の子どもの遊びの変化や様子を丁寧に伝える。（保育参観） ・水遊びの準備について知らせる。		
地域との連携	・一年間の行事や予定を知らせる。		・行事の案内、ボランティアや職業体験の学生、子育てサロンの利用者と触れ合う。		
遊び	園庭（鬼ごっこ、砂場、虫探し）、散歩、季節の歌、集団遊び（わらべうた、転がしドッジボール、ストップゲーム）、長縄、カードゲーム		園庭（鬼ごっこ、かけっこ、リレー、縄跳び）、散歩、集団ゲーム、水遊び（シャボン玉、泥、砂、色水、草ままごと）、季節の歌		
行事			運動会、バス遠足		

Ⅲ期（10・11・12月）		Ⅳ期（１・２・３月）	
・友達との関わりが広がるが、意見のぶつかり合いも増える。 ・全身運動が活発になり、様々な運動を楽しむ。 ・身近な自然や事象に興味をもつ。 ・様々な遊びや活動に積極的に取り組む姿がみられる。		・仲間意識が強まり、みんなで一つの遊びや活動を楽しむ。 ・友達とのトラブルを自分達で解決しようとする。 ・進級することに期待をもち、意欲的に活動に参加する。	
・友達と一緒に楽しみながら、様々な活動に意欲的に取り組む。		・様々な遊びに積極的に取り組み、友達と一緒に遊ぶ中でつながりを深める。 ・年長になることへの自信と期待をもつ。	
＜10月＞秋の自然に触れ友達と一緒に体を動かして遊ぶ。 ＜11月＞友達とイメージを共有し、一緒に表現することを楽しむ。 ＜12月＞自分たちで遊びを考えたり、工夫したりすることを楽しむ。		＜１月・２月＞友達と一緒に工夫しながら冬の遊びを楽しむ。 ＜２月・３月＞年長になることへの自信や期待をもつ。	
＜内　　容＞	＜環境構成および援助＞	＜内　　容＞	＜環境構成および援助＞
・気温や活動に応じて自分で衣類の調節をし、快適に生活できるようにする。	・自分で気付いて衣類の調節をしたり整えたりできるよう声かけをする。	・手洗いうがい、衣服の調整など、冬の健康に必要な習慣が身に付くようにする。	・健康維持の方法を知らせ、習慣にできるように援助する。
・友達に自分の思いを伝えるとともに、相手の思いにも気付けるようにする。 ・友達と力を合わせて活動に取り組む楽しさを味わえるようにする。	・トラブルが起こったときには、お互いの思いを伝え合い、相手の気持ちに気付けるように関わる。 ・個々に合わせて活動に興味がもてるような働きかけをし、友達と一緒に活動する楽しさを感じられるようにしていく。	・自分の思いを主張したり、相手の思いを受け入れたりできるようにする。 ・遊びや生活を通して進級への期待をもてるようにする。	・友達と互いの思いを伝え合いながら遊ぶことができるように関わる。 ・進級への期待が膨らむような活動を取り入れながら、一人一人の成長を認める。
・体を動かす遊びや運動に進んで取り組む。	・子どもの意見を取り入れながら遊びを設定する。 ・子どもの頑張りを認め、やり遂げた充実感がもてるようにする。	・雪遊びを友達と一緒に楽しむ。 ・体を動かしていろいろな運動遊びに積極的に取り組む。	・個々の健康状態を把握し、気温や天候を考慮しながら、十分に雪遊びを楽しめるようにする。 ・できた喜びを感じられるように、活動を展開し、達成感を味わえるようにする。
・友達と一緒に活動する中でルールの大切さを知り、守りながら遊ぼうとする。	・ルールや遊び方を丁寧に知らせ、約束を守って遊ぶ経験ができるようにする。	・友達と一緒にルールのある遊びを楽しみながら、工夫したり、展開したりしていく。 ・互いを認め合い思いやりの気持ちをもつ。	・子ども同士で考えたり、工夫したりする姿を見守りながら、必要に応じて援助していく。 ・相手の思いに気付くように、子ども同士が話し合う場を大切にする。
・季節の移り変わりに関心をもつ。 ・生活や遊びの中で数量や図形、文字に関心をもつ。	・散歩や戸外遊びの中で季節の変化への気付きを促す。 ・数量や図形などを生活や遊びの中に取り入れ、結び付けることができるようにする。	・遊びの中で身近な環境や事象に関心をもつ。 ・生活や遊びの中で数量や形などの違いに気付き、興味をもって遊ぶ。	・冬の自然に目を向け、子どもの気付きや発見に共感し、身近な自然への好奇心につなげる。 ・話や遊びの中に数や図形、文字を取り入れ興味をもてるようにする。
・共通のイメージをもち、友達とやり取りをして遊びを広げる。 ・必要なことを言葉で伝えたり、話を聞いて理解したりする。	・相手の話を聞いたり自分の気持ちを伝えたりし、共に活動する楽しさを味わえるような経験ができるようにする。	・言葉で自由に表現したり、伝え合ったりすることの楽しさを味わう。	・自分の思いや考えを言葉で表現しながら遊ぶ楽しさを味わえるようにする。
・イメージを膨らませ、描画や制作を楽しむ。 ・イメージを共有しながら友達と一緒に表現することを楽しむ。	・自分の好きなものをイメージし、描画や制作で取り組めるようにする。 ・子どもの発想を受け止め、みんなと一緒に踊ったり歌ったりする楽しさを経験できるようにする。	・様々な表現遊びを友達と一緒に楽しむ。	・子どもの発想をより広げられるよう、素材や内容を吟味し、取り入れる。
・室温.湿度の調節、換気に留意する。 ・薄着に心がけ、衣類の調整をする。 ・秋から冬に多い疾患の予防に努める。 ・水分補給をこまめに行う。 ・室内外の安全点検を行う。		・室温、湿度の調節.換気に留意する。 ・水分補給をこまめに行う。 ・冬季に多い疾患の予防に努める。 ・室内外の安全点検を行う。	
・子どもの興味や関心を伝え、成長していく姿や心情を喜び合う。 ・雪遊びの準備について知らせる。 ・箸への移行に向けて、家庭と連携を取っていく。		・子どもの成長や発達の様子を伝え、喜び合い進級に期待が持てるようにする。　（個人懇談） ・進級にあたっての準備について知らせる。	
・行事の案内、ボランティアや職業体験の学生、子育てサロンの利用者と触れ合う。		・行事の案内、ボランティアや職業体験の学生と触れ合う。	
園庭（鬼ごっこ、かけっこ、リレー、縄跳び、鉄棒）、ドッジボール、散歩、踊り、自然物を使った制作、季節の歌		雪遊び（ソリすべり、雪合戦、基地づくり、色雪）、ドッジボール、散歩かるた、すごろく、こま回し、制作、折り紙、季節の歌	
生活発表会、クリスマス会		お店屋さんごっこ、節分、大きくなったね会、卒園お祝い会、クラス移行	

令和６年度　　年間指導計画　　５歳児

年間目標	・年長児としての自覚をもち、様々な活動に意欲的に取り組むとともに主体的に自信をもって行動する。 ・友達との関わりを深め、互いの良さを認め合いながら、一緒に活動する。 ・健康で安全な生活習慣を身に付ける。				
年間区分	Ⅰ期（４・５月）		Ⅱ期（６・７・８・９月）		
子どもの姿	・年長児になった喜びと期待が見られ、友達との遊びを楽しむ。 ・進級したことに不安を感じ、落ち着きのない子や情緒が不安定な子もいるが、進んで手伝いをするなど、意欲的に生活している。		・積極的に体を動かし、運動遊びに取り組もうとする。 ・友達と思いを伝え合い、相手の気持ちを受け入れながら友達とのつながりを深める。 ・共通の目的をもって友達と一緒に考えたり遊んだりする。 ・身近な自然に、興味や関心をもつ。		
ねらい	・年長児になった自信と自覚をもち、生活に必要な決まりを守りながら園生活を楽しむ。		・クラスで運動遊びを楽しみ、目標をもって取り組む。 ・夏の遊びや運動遊びを友達と一緒に楽しみ、生活や遊びの中で様々な経験を通し、興味関心を高める。		
月目標	＜４・５月＞ ・春の自然や行事などに関心をもち、友達と一緒に生活を楽しむ。 ・友達との関わりの中で、相手の気持ちを理解し、思いやりをもって関わろうとする。		＜６月＞友達と一緒に様々な運動遊びを楽しむ。 ＜７月＞友達と一緒に様々な夏の遊びを楽しむ。 ＜８月＞クラス全体での活動を楽しみながら、自分の力を発揮する。 ＜９月＞・目標をもって挑戦することを楽しむ。 ・友達と協力しながら、共通の目的に向かって意欲的に取りくむ。		
養護		＜内　　容＞	＜環境構成および援助＞	＜内　　容＞	＜環境構成および援助＞
養護	生命	・健康な生活を送るために必要な生活習慣が分かり、身に付けることができるようにする。（手洗い、うがい、鼻をかむ、清潔を保つ、着衣の乱れを整えるなど）	・室内外での約束や生活の仕方、身だしなみなどについて改めて確認できるようにする。	・適度な運動と休息、水分補給の必要性を知り、健康に過ごせるようにする。	・感染症の予防の大切さを知らせ、健康について関心が深まるようにする。 ・自分で気が付いて衣服の調節ができるよう促すとともに、活動の中に水分補給や休息を意識的に取り入れ、快適に過ごせるようにする。
養護	情緒	・友達や保育士との信頼関係を深め、安心して生活を送ることができるようにする。	・子ども一人一人の様子を把握し、友達や保育士と信頼関係を築けるようにする。 ・年長になったことへの不安や緊張を受け止め、安心して過ごせるようにする。	・友達と思いを伝え合い、互いを認め合える関係づくりができるようにする。	・友達と互いの思いを伝え合いながら遊び、子ども同士のつながりを深められるよう必要に応じて仲立ちをする。 ・他者から認めてもらうことの喜びを感じられるような機会をつくる。
教育	健康	・戸外や室内でのびのびと活動し、友達と一緒に様々な遊びを楽しむ。 ・遊具や器具の正しい扱い方、遊び方を知り安全に遊ぶ。	・子どもの興味や関心に合わせて、環境を整備する。 ・安全に遊ぶためのルールを伝え、守ることの大切さを知らせていく。	・運動遊びに積極的に取り組み、目標を立て、挑戦しようとする。 ・遊びの決まりやルールが分かり、安全に遊ぶことができるようにする。	・一人一人の運動能力に合った援助をし、自信につながるような活動を取り入れていく。 ・生活や遊びの中での危険について知らせ、自分で気付き、安全に行動できるようにしていく。
教育	人間関係	・相手の思いに気付き、思いやりをもって関わろうとする。 ・年下の友達に親しみをもって接する。	・相手の思いに気付けるよう見守りつつ、必要に応じて援助していく。 ・年下の子の手助けをする機会をもち、親しみをもてるようにする。	・友達との関わりの中で相手の気持ちに気付き、思いや考え方が異なる時には自分の意思を言葉で伝える。 ・地域や学校関係者との触れ合いを通して身近な人々に関心をもつ。	・自分の意見を友達に伝え、各々の存在を認め合えるよう、見守ったり、適切な援助をしていく。 ・地域との交流活動や園外での活動の機会をもち、身近な人やマナーに関心がもてるようにしていく。
教育	環境	・春の自然に関わる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、大切にする気持ちをもとうとする。	・春の自然に触れる機会をもち、季節の変化を感じられるようにする。　・栽培や飼育などの機会をつくり、命の大切さを身近に感じられるようにする。	・泥や水などの感触を味わい、その不思議さや性質に気付きながら遊ぶ。	・夏の遊びを多く取り入れ、様々な事象に興味や関心をもてるようにする。
教育	言葉	・友達や保育士の話に関心をもち、相手の話を聞き、自分の思いや考えを伝えようとする。	・友達や保育士の話を落ち着いて聞けるような声かけをする。	・思いや考えを相手と伝え合い、会話を楽しむ。	・自分の思いを表現したり、友達の話を聞いたりする機会をつくり、思いを伝え合う経験を積めるようにする。
教育	表現	・豊かなイメージをもとに、描画や制作を楽しむ。 ・友達と一緒に歌を歌ったり体で表現したりすることを楽しむ。	・子どもが工夫して楽しめるよう、様々な素材や用具を揃え、興味を引き出していく。 ・子どもの興味に合わせて活動内容を工夫し、楽しめるようにしていく。	・様々な素材や用具を使い、工夫して表現する。 ・イメージを共有し友達と力を合わせ、様々な表現活動を楽しむ。	・一人一人のイメージを尊重し、創意工夫する姿を認めていく。 ・イメージを共有し、みんなで表現することの喜びを味わえるようにする。
健康及び安全	・一人一人の健康、発達状態を把握をする。 ・遊びのルールや交通ルールを知らせる。 ・室内外の安全点検を行う。（環境整備、遊具消毒） ・手洗い、うがいの習慣が身に付くように知らせる。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で理解し、対応できるようにする。		・夏季に多い疾患（熱中症、皮膚の疾患）の予防に努める。 ・天候や温度に合わせ衣類の調整を行い、水分補給をしながら快適に過ごせるようにする。 ・室内外の安全点検を行う。		
家庭との連携	・子どもの様子を知らせ、信頼関係を築いていく。 （懇談会）		・夏の時期の子どもの遊びの変化や様子を丁寧に伝えていく。 （保育参観） ・水遊びの準備について知らせる。		
地域との連携	・一年間の行事や予定を知らせる。		・行事の案内、ボランティアや職業体験の学生と触れ合う。		
遊び	ブロック、ままごと、パズル、制作など 園庭（ジャングルジム、鉄棒、鬼ごっこ、ルールのあるゲーム）散歩、ドッジボール、季節の歌、手遊び、行事の絵		園庭（鬼ごっこ、かけっこ、縄跳び、鉄棒、跳び箱）、跳び箱、散歩、ボール遊び、水遊び（シャボン玉、泥、砂、色水、草まままごと）、季節の歌、手遊び、楽器遊び、行事の絵		
行事			運動会、園外保育、野菜の収穫（クッキング）、バス遠足		

<table>
<tr><th colspan="2">Ⅲ期（10・11・12月）</th><th colspan="2">Ⅳ期（１・２・３月）</th></tr>
<tr><td colspan="2">・共通の目的をもち、友達と一緒に考えたり遊んだりする。
・様々な活動を通して達成する喜びを感じ、自分なりの目標に向かって努力する。
・文字や数に興味をもち、遊びの中に取り入れようとする。</td><td colspan="2">・遊びや知識が豊かになり、友達と一緒に工夫して遊びを発展させる。
・文字の読み書きをしたり、時計を見て生活したりするようになる。
・就学への期待が膨らみ、生活や遊びに意欲的に取り組む。</td></tr>
<tr><td colspan="2">・友達と話し合いながら共通の目的に向かって活動を進めていく。</td><td colspan="2">・友達と互いの良さを認め合いながら、遊びや活動を進める楽しさを味わう。</td></tr>
<tr><td colspan="2">〈10月〉・秋の自然に興味をもち、遊びに取り入れて楽しむ。
・イメージを共有し、友達と協力したり工夫したりしながら 活動する楽しさを味わう。
〈11月〉・イメージを共有し、友達と協力したり工夫したりしながら 活動する楽しさを味わう。
・クラスで一つのことをやり遂げ、満足感や達成感を味わう。
〈12月〉・冬の自然に興味をもち、考えたり工夫したりして遊びを楽しむ。</td><td colspan="2">＜１月＞・就学に期待をもち、様々な活動に自信をもって取り組む。
・冬の自然に興味をもち、考えたり工夫したりして遊びを楽しむ。
〈２・３月〉
・仲間意識を深める中で互いの良さを認め合い、楽しく生活する。
・就学に向け期待をもち、意欲的に生活や遊びに取り組む。
・数や文字などへの関心を深め、使うことを楽しむ。</td></tr>
<tr><th>＜内　　容＞</th><th>＜環境構成および援助＞</th><th>＜内　　容＞</th><th>＜環境構成および援助＞</th></tr>
<tr><td>・病気の予防に関心をもつ。
・気温の変化に気付き、衣服の調整をする。</td><td>・病気やその予防について知らせ、健康的な生活が身に付くようにしていく。</td><td>・生活習慣が身に付き、自分で考え生活できるようにする。
・就学に向け、午睡のない生活リズムを身に付ける。</td><td>・健康や生活リズムの大切さを知らせ、生活習慣が身に付いているか、自分でできるようになっているか見直していく。
・就学に向けた生活リズムづくりをする。また個々の体調に合わせた休息や午睡の取り方に配慮していく。</td></tr>
<tr><td>・友達や保育士に認められたり、褒められたりする中で自信をもつことができるようにする。</td><td>・達成感を共有し、互いを認め合える機会をつくり、自信をもって過ごせるようにする。</td><td>・就学に向け、互いの成長を認め合い、心の安定が図れるようにする。
・小学校生活に期待をもち、意欲的に生活できるようにする。</td><td>・一人一人の成長を認め、互いに認め合いながら生活できるよう見守り、場に応じて必要な援助をしていく。
・就学への不安を受け止め、期待をもてるような活動をしていくことで、安心感をもてるようにする。</td></tr>
<tr><td>・体を十分に動かして遊ぶ充実感を味わう。
・自分の体調の変化に気付き、自ら伝えようとする。</td><td>・全身を十分に使えるような活動を設定し、心身の充実を図っていく。
・体の不調の知らせ方を具体的に知らせていく。</td><td>・様々な運動遊びに取り組み、意欲的に挑戦する。
・冬の寒さに負けず、友達と一緒に工夫しながら雪遊びを楽しむ。</td><td>・行事と遊びのバランスを考慮して活動を組み立て、心身の充実を図っていく。
・天候を考慮しながら、子ども自らが考え遊びを広げていけるよう援助していく。</td></tr>
<tr><td>・友達と共通の目的をもち、協力して物事をやり遂げようとする。
・友達への親しみや信頼感を深め、互いに認め合い、思いやる気持ちをもつ。</td><td>・友達と協力して取り組める活動を計画し、楽しみながら意欲的に進めていけるよう工夫する。
・相手の思いに気付いて、互いの気持ちを理解できるよう、見守りや適切な助言をしていく。</td><td>・集団生活の中で、自己主張したり相手の意見を取り入れたりしながら、協力し合う。</td><td>・集団で話し合う機会をもち、自分の意見を主張したり、相手の意見を受け入れたりできるようにしていく。</td></tr>
<tr><td>・秋の自然に関心をもち、変化を楽しむ。
・文字や数量、形に関心をもち、生活や遊びに取り入れていく。</td><td>・自然の変化に気付き、自然物を使った遊びを楽しめるようにする。
・文字に触れる機会や物を並べたり数えたりする機会などをもち、生活の中で認識していけるようにする。</td><td>・雪や氷などの自然に関心をもち、遊びに取り入れ、工夫したり考えたりする。
・自分の物の管理や生活の場の整理整頓をしようとする。</td><td>・雪遊びを多く取り入れ、様々な事象に興味や関心をもてるようにしていく。
・快適に生活するための約束事を理解できるよう、片付けや物の準備、管理の必要性を知らせていく。</td></tr>
<tr><td>・相手の話の内容や思いを受け止めながら自分の思いを適切な言葉で伝え、会話を楽しむ。</td><td>・友達とのやり取りの中で、相手に伝わる適切な言い方や聞き方ができるよう援助していく。</td><td>・集団の中で友達や保育士の話を最後まで聞き、場にあった言葉で思いや考えを話し、伝え合う。</td><td>・安心して自分を発揮できる雰囲気や心地よい集団の関係づくりをしながら、正しい言葉の使い方を知らせていく。</td></tr>
<tr><td>・イメージを共有し、友達と力を合わせて工夫しながら様々な表現活動を楽しむ。</td><td>・一人一人が楽しさを味わいながらイメージを共有し、みんなで一緒に表現することの喜びを味わえるように関わっていく。</td><td>・友達とイメージを共有し、役割を分担して様々な表現活動を楽しむ。</td><td>・子どもの発想やイメージを活かし、話し合える機会をつくり、必要に応じて援助していく。
・卒園に向けての作品づくりの楽しさを共有し、協力して完成させる喜びを味わえるようにする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">・室温、湿度の調節、換気に留意する。
・薄着に心がけながら、衣類の調整をする。
・秋から冬に多い疾患の予防に努める。
・水分補給をこまめに行う。
・室内外の安全点検を行う。</td><td colspan="2">・室温、湿度の調節、換気に留意する。
・水分補給をこまめに行う。
・冬季に多い疾患の予防に努める。
・室内外の安全点検を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">・子どもの成長を喜び合い、今後の活動や予想される姿を伝え、就学へのイメージがもてるようにする。（個人懇談）
・雪遊びの準備について知らせる。</td><td colspan="2">・子どもの成長や発達の様子を伝え喜び合い、就学への期待がもてるようにする。
・就学にあたっての準備について知らせる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">・行事の案内、ボランティアや職業体験の学生と触れ合う。</td><td colspan="2">・行事の案内、ボランティアや職業体験の学生と触れ合う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">園庭（鬼ごっこ、鉄棒、縄跳び）、跳び箱、散歩、ボール遊び、自然物を使った制作、季節の歌、手遊び、行事の絵、楽器遊び、廃品制作</td><td colspan="2">雪遊び（ソリすべり、色雪、雪合戦、基地づくり）、ボール遊び、かるた、すごろく、こま回し、書初め、廃品制作、卒園制作、楽器遊び、季節の歌、手遊び、行事の絵</td></tr>
<tr><td colspan="2">園外保育、野菜の収穫（クッキング）、月寒小発表会練習見学、生活発表会、クリスマス会、正月飾り</td><td colspan="2">お店屋さんごっこ、節分、卒園お祝い会、大きくなったね会</td></tr>
</table>

令和６年度　　年間指導計画　　異年齢

年間目標	・様々な年齢の友達と生活し、ともに感じたり伝え合ったりする中で、互いを認め合い、意欲や自己肯定感を高める。 ・四季の変化に気付き、季節に合わせた遊びを楽しむ。				
年間区分	Ⅰ期（４・５月）		Ⅱ期（６・７・８・９月）		
子どもの姿	・進級したことに、期待と意欲をもって生活する。 ・新しい環境に緊張や不安をもつ子がいる。 ・異年齢の友達に関心をもち、関わろうとする。		・新しい環境に慣れ、意欲的に生活する。 ・異年齢の友達に親しみをもち、グループでの活動を楽しむ。		
ねらい	・新しい環境に慣れ異年齢の友達と関わりながら遊ぶ。		・自分で身の回りのことをする。 ・異年齢の友達と関わりながら遊びを楽しむ。		
月目標	＜４月＞　新しい環境に慣れ,好きな遊びを楽しむ。 ＜５月＞　春の自然に触れ、体を動かして遊ぶ。		＜６月＞　集団遊びや散歩を通して友達との関わりを広げる。 ＜７・８月＞異年齢の友達と夏の遊びを楽しむ。 ＜９月＞　戸外で体を動かし、楽しく遊ぶ。		
養護		＜内　　容＞	＜環境構成および援助＞	＜内　　容＞	＜環境構成および援助＞
	生命	・新しい環境に慣れ、快適に過ごせるようにする。 ・基本的生活習慣を身に着ける。	・保護者と保育士間での連絡、連携を密にし、一人一人の心身の健康状態を把握する。 ・健康で安全に生活する大切さを知らせ、快適に生活できるような環境を整える。	・衣類の調節、水分補給や休息の大切さを知らせていくようにする。 ・基本的生活習慣を身に付け、主体的に生活しようとする。	・暑さのため体調を崩しやすい時期なので、家庭と連携を取りながら一人一人の健康状態を把握する。 ・水分補給の大切さを知らせ、活動の合間に水分補給を促す。
	情緒	・生活の流れが分かり、安心して過ごせるようにする。	・遊びや生活の流れが分かるように繰り返し伝える。 ・一人一人の子どもの気持ちを受け止め安心して過ごせるよう心がけ、信頼関係を築く。	・異年齢の友達や保育士と関わり楽しく遊べるようにする。 ・自分の好きな遊びを見つけ、じっくりと遊べるようにする。	・個々の好きな遊びを把握し、友達や保育士と十分に遊びを楽しめるように関わる。
教育	健康	・友達と体を動かして遊ぶ。	・生活習慣や健康な生活のリズムを身に付けられるよう、活動と休息のバランスに配慮する。 ・異年齢で楽しめるような遊びを取り入れる。	・戸外で異年齢の友達と十分に体を動かして遊ぶ。	・汗をかいたら着替えをすることを知らせる。 ・気温や天候を考慮して遊びを工夫する。 ・体を動かす遊びではそれぞれの年齢発達に合わせて配慮する。
	人間関係	・異年齢の友達に興味をもつ。	・年少児が不安にならないよう、具体的な関わり方を知らせる。 ・一人一人の様子を把握し、友達と一緒に遊べるよう保育士が仲立ちとなる。	・異年齢の友達と一緒に様々な活動を楽しむ。	・わらべうたや簡単なルールのあるゲームなどを取り入れ、異年齢の友達との関わりを楽しめるようにする。
	環境	・自分の好きな遊具で遊ぶ。 ・散歩や園庭遊びなど戸外に出かけ、自然に親しむ。	・遊具の正しい使い方をどの年齢の子も理解できるように知らせる。 ・身近な自然に興味関心をもち、見たり触れたりして楽しむ。	・散歩に出かけ、自然に親しむ。 ・泥、砂、水、プールなど夏の遊びを楽しむ。	・様々な自然物に触れて遊べるような声がけや関わりをする。 ・水遊びの準備、遊び方を確認し、安全に遊べるようにする。
	言葉	・自分でしたいことや、してほしいことを言葉で伝えようとする。	・一人一人の話を丁寧に聞くことで、安心して気持ちを伝えられるようにする。	・生活の中で経験したことや感じたことを、言葉で伝える。	・友達の話を聞いたり話したりする機会をもち、自分の気持ちを言葉で伝えることができるように関わる。
	表現	・歌を歌ったり、踊ったりすることを楽しむ。 ・自由に描いたり、つくったりすることを楽しむ。	・体操や踊りを異年齢で楽しめるようにする。 ・描画や制作が楽しめるよう様々な素材を準備する。	・歌を歌ったり、踊ったりすることを楽しむ。 ・友達と協力しながら一つのものをつくることを楽しむ。	・体操や踊りを異年齢で楽しめるようにする。 ・子どもたちのイメージを大切にしながら、どの年齢の子も楽しめるよう工夫する。
健康及び安全	・一人一人の健康.発達状態を把握をする。 ・遊びのルールや交通ルールを知らせる。 ・室内外の安全点検を行う。（環境整備、遊具消毒） ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で理解し、対応できるようにする。		・夏季に多い疾患（熱中症、皮膚の疾患）の予防に努める。 ・天候や温度に合わせ衣類の調整を行い、水分補給をしながら快適に過ごせるようにする。 ・室内外の安全点検を行う。		
家庭との連携	・子どもの様子を知らせ、園との信頼関係を築く。		・夏の時期の子どもの遊びの変化や様子を丁寧に伝える。 （グループ便り）		
地域との連携	・一年間の行事や予定を知らせる。		・子育て体験や職業体験の学生と触れ合う。		
遊び	ブロック、ままごと、パズル、制作など 園庭、散歩 集団遊び、季節の歌、手遊び		園庭（鬼ごっこ、かけっこ、縄跳び、ジャングルジム）、散歩、集団遊び、わらべ歌遊び、水遊び 季節の歌、手遊び		
行事			運動会		

Ⅲ期（10・11・12月）		Ⅳ期（１・２・３月）	
・遊びや友達関係に広がりが見られる。 ・様々な活動に興味をもち、意欲的に参加しようとする。 ・年長児が中心となり、様々な活動を経験することで、仲間意識が高まってくる。		・仲間意識の高まりとともに、友達との関係が深まり、遊びも広がる。 ・様々な場面で認められ、就学や進級へ期待が高まる。	
・グループで様々な活動に取り組み、結びつきを強める。 ・生活の中で、見通しをもち、意欲的に行動する。 ・友達と関わりながら工夫して遊ぶ楽しさを味わう。		・異年齢の友達と関わりながら、自信をもって活動する。 ・友達同士、互いの成長を認め合い、就学や進級への期待をもつ。	
＜10月＞秋の自然に触れ戸外遊びを楽しむ。 ＜11月・12月＞異年齢の友達とごっこ遊びや表現遊びを楽しむ。		＜１・２月＞異年齢の友達と一緒に、冬の遊びを十分に楽しむ。 ＜３月＞　成長したことを喜び、意欲的に生活する。	
＜内　　容＞	**＜環境構成および援助＞**	**＜内　　容＞**	**＜環境構成および援助＞**
・衣類の調節や手洗い、うがいをし、風邪の予防に努められるようにする。	・寒暖の差に対し、子どもが自分で衣類の調整ができるように声をかける。 ・手洗い、うがいなどの予防と病気との関係をわかりやすく知らせる。	・生活習慣が身につき、自分で考え生活できるようにする。	・手洗いやうがいができているか確認し、必要に応じて正しい方法を伝える。
・様々な遊びや活動を通して、自分の力を発揮し、また相手を認められるようにする。	・子ども同士が互いに認め合えるような機会を多くもつ。	・集団の中で互いの存在を認め合えるようにする。 ・安心感をもち、主体的に生活や遊びに取り組めるようにする。	・子どもの遊びや発達に合わせ友達との関わりが深まるような遊びができるよう、環境を整える。
・異年齢の友達と進んで体を動かして遊ぶ。 ・見通しをもち主体的に生活する。	・個々に合わせて促しや援助をするなど配慮する。 ・体を動かす遊びではそれぞれの年齢発達に合わせて配慮する。	・戸外や室内で様々な運動遊びを楽しむ。	・就学や進級に期待がもてるような関わりをし、自信をもって生活できるようにする。 ・個々の健康状態を把握し十分に雪遊びや体を動かす遊びが楽しめるようにする。
・様々な活動を通して、互いに認め合いながら一緒に活動することを楽しむ。	・友達関係を見守り、必要に応じて保育士が仲立ちとなり互いの気持ちに気付けるようにする。	・生活や遊びの中で、決まりやルールを守りながら楽しんで遊ぶ。	・集団遊びやルールのあるゲームを多く取り入れる。 ・友達関係を見守り、必要に応じて保育士が仲立ちとなり互いの気持ちを認め合えるようにする。
・身近な自然に触れ、自然物を使って様々な遊びを楽しむ。 ・身の回りの物，色，形に興味をもち、数や量に気付く。	・自然物を集めたり、季節の移り変わりを感じられる戸外遊びを多く取り入れる。	・冬の自然に親しみ、戸外遊びを楽しむ。	・ソリすべり、雪合戦、基地作りなど、雪遊びの楽しさを知らせる。
・異年齢の友達と言葉で伝え合いながら、共通のイメージで遊び、様々な言葉に親しむ。	・自由な発想やイメージで友達と一緒に遊びを展開し、やり取りをする中で様々な言葉に触れられるようにする。	・人の話を聞いたり、自分の思いを話したりしながら言葉で伝え合うことを楽しむ。	・遊びの中で自分の思いや考えを話したり、友達の話に耳を傾けたりして言葉のやり取りを楽しめるようにする。
・異年齢の友達とイメージを共有して、表現活動を楽しむ。	・子ども同士が、イメージを広げて遊びを展開できるよう、保育士が一緒に遊んだり、環境を整えたりする。	・生活の中で育んできたイメージを生かし様々な表現活動を楽しむ。	・イメージを様々な方法で表現できるようにする。 ・子ども自身が工夫して遊びを進められるようにする。
・室温、湿度の調節、換気に留意する。 ・薄着を心がけながら衣類の調整をする。 ・秋から冬に多い疾患の予防に努める。 ・水分補給をこまめに行う。 ・室内外の安全点検を行う。		・室温、湿度の調節、換気に留意する。 ・水分補給をこまめに行う。 ・冬季に多い疾患の予防に努める。 ・室内外の安全点検を行う。	
・子どもの興味や関心を伝え、成長していく姿や心情を喜び合う。		・子どもの成長や発達の様子を伝え、喜び合い進級に期待がもてるようにする。（グループ便り）	
・行事の案内、ボランティアや職業体験の場の提供などをする。		・行事の案内、ボランティアや職業体験の学生と触れ合う。	
園庭（鬼ごっこ、かけっこ、縄跳び）、転がしドッジボール、散歩 自然物を使った制作、集団遊び、わらべ歌遊び、季節の歌、手遊び		雪遊び、集団遊び、わらべ歌遊び、伝承あそび、お店屋さんごっこ制作,季節の歌、手遊び	
生活発表会		お店屋さんごっこ、クラス移行	